

# 新宿御苑

たくさんの巨樹に会える  
都会のオアシス



広々とした芝生と大きなユリノキの後ろに見えるのは、大都会・新宿の高層ビル。都心に広がるオアシス・新宿御苑には、日本で初めて植えられたプラタナスをはじめとする約300本の巨樹があります。新宿の歴史とともに生きてきた巨樹にまつわるストーリーと生命力を感じてみませんか。

### 【アクセス】

- ・JR・京王・小田急線「新宿駅」より徒歩10分
- ・西武新宿線「西武新宿駅」より徒歩15分
- ・東京メトロ丸の内線「新宿御苑前駅」、東京メトロ副都心線「新宿三丁目駅」、都営新宿線「新宿三丁目駅」より徒歩5分

### 【入園料】

- ・一般 500円 (30人以上団体割 400円)
- ・65歳以上/学生 (高校生以上) 250円
- ・小人 (中学生以下) 無料

**1** 大人5人で  
やっと囲める太さ  
モミジバスズカケノキ  
(*Platanus acerifolia*)

幹周り 630cm  
樹高 26m  
樹齢 120年以上 (推定)



幹周り6メートルを超えるこの巨樹の雄大な樹形は見ごたえあり。プラタナスの間で、明治20～30年代に日本で初めて新宿御苑に植えられました。プラタナスの苗木はここから全国へ広まったと言われています。

**2** 上にも根っこが伸びる  
湿地の巨樹  
ラクウショウ  
(*Taxodium distichum*)

幹周り 337cm  
樹高 25m  
樹齢 120年以上 (推定)



木道脇の地面からにぎよきと生えているのは「気根(きこん)」と呼ばれる根っこ。原産地の北米では湿地や沼地に生えており、地上や水面にこの気根を伸ばして呼吸しています。

**3** 江戸時代から残る名木  
ハクモクレン  
(*Magnolia denudate*)

幹周り 238cm  
樹高 14m  
樹齢 150年以上 (推定)



日本庭園のお茶室・楽羽亭前には、江戸時代に植えられたと伝えられるハクモクレンの名木があります。新宿御苑の中でも最も古い木のひとつで、毎年3月下旬頃になると、白い花をまとった美しい姿を見せてくれます。

**4** 新宿御苑の  
シンボル・ツリー  
ユリノキ  
(*Liriodendron tulipifera*)

幹周り 491cm  
樹高 35m  
樹齢 120年以上 (推定)



栽培試験場だった明治初期に、新宿御苑に日本ではじめて植えられました。都内にあるユリノキの多くは、新宿御苑のユリノキの子孫。チューリップのような黄緑色の花が5月の連休頃に木いっぱい咲きます。

**5** 関東ではめずらしい  
北国の木  
ハルニレ  
(*Ulmus davidiana var. japonica*)

幹周り 383cm  
樹高 22m  
樹齢 120年以上 (推定)



旧洋館御休所前に広がる芝生の中に、ひととき目を引くハルニレの巨樹があります。北海道を中心とした北日本の山地に多く見られますが、関東地方ではとてもめずらしい木です。3月中旬頃、一見すると花に見えない、小さな花を咲かせます。

## 【巨樹・巨木林調査とは？】

環境省では、地上130cmの幹周りが300cm以上の木を対象に、自然環境保全基礎調査の一環として、昭和63年から「巨樹・巨木林調査」を実施しています。

巨樹・巨木林の情報は「巨樹・巨木林データベース」ウェブサイトをご覧ください。  
(<https://kyoju.biodic.go.jp/>)

## 【全国巨樹・巨木林の会】

巨樹・巨木林にご関心のある方は、「全国巨樹・巨木林の会」にアクセス！  
(URL:<http://www.kyojyu.com/>)

巨樹・巨木林の観察会、機関誌「巨樹・巨木林」の発行、「巨木を語ろう全国フォーラム」の開催など、巨樹・巨木林に関する活動を行っています。

# 新宿御苑 たくさんの巨樹に会える都会のオアシス

## スタート

### 新宿門

コースの所要時間は1時間30分程度。  
大温室や旧洋館御休所などの施設にも  
足を運ぶなら半日は必要です。

1 大人5人で  
やっと囲める太さ

### モミジバスズカケノキ

幹周り 630cm  
樹高 26m  
樹齢 120年以上(推定)  
所在地 新宿門近く

あなたの街の  
プラタナスの  
ご先祖かも!?

2 根っこが上にも伸びる  
湿地の巨樹

### ラクウショウ

幹周り 337cm  
樹高 25m  
樹齢 120年以上(推定)  
所在地 母と子の森の  
外周囲路沿い

見ごろは3月下旬  
純白の花は必見!

3 江戸時代から残る  
名木  
ハクモクレン

幹周り 238cm  
樹高 14m  
樹齢 150年以上(推定)  
所在地 日本庭園のお茶室・  
楽羽亭前

4 新宿御苑の  
シンボル・ツリー  
ユリノキ

幹周り 491cm  
樹高 35m  
樹齢 120年以上(推定)  
所在地 風景式庭園の中央

一年中花を楽しめる  
大温室にも見どころが  
いっぱい!

5 関東ではめずらしい  
北国の木

### ハルニレ

幹周り 383cm  
樹高 22m  
樹齢 120年以上(推定)  
所在地 風景式庭園内、  
旧洋館御休所の正面

都会を背景に  
パチリ



## 【新宿御苑のあらまし】

もとは徳川家康の家臣、信州高遠藩主内藤氏の屋敷の一部。明治5(1872)年に農作物や園芸植物の栽培試験場「内務省内藤新宿試験場」が創設され、海外の樹木や野菜、果樹、花卉などの栽培研究や技術者の育成が行われました。

その後、皇室庭園となり、昭和24(1949)年から「国民公園新宿御苑」として一般に公開されています。

武家屋敷だった江戸時代に植えられ今に残るハクモクレンや、栽培試験場だった明治時代に日本に初めて導入されてから大切に育てられてきたユリノキなど、この土地ではめずらしかった木々が、今では巨樹となり、その姿を楽しませてくれています。

## 【大温室】

新宿御苑の前身である内務省内藤新宿試験場の時代、明治8(1875)年に建てられた100平方メートルのガラス張りの大温室では、洋ランをはじめ、熱帯・亜熱帯の植物が栽培され、大正から昭和の初めにかけては新宿御苑の名前を冠した洋ランを多数作りだしてきました。

平成24(2012)年に全面的な建て替えが行われ、熱帯の植物を中心に約2,700種の植物が育てられており、一年を通して美しい花を楽しむことができます。また、絶滅危惧種の保護・育成、種子の保存にも力を入れています。

